

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 令和3年1月20日（水）
午前10時～午前11時20分
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 全議員
- 5 出席者 副市長 小川信彦
総務部長 中村定秋、健康福祉部長 山北由美子、建設部長 片岡和浩、消防長 柴田義晴、教育こども未来部長 長谷川忍
行政課長 佐野剛、協働安全課長 小松浩、同市民協働グループ統括主査 須藤隆、同防災安全グループ統括主査 水野功一、環境保全課長 隅田昌輝、同環境グループ統括主査 黒田かおり、都市整備課長兼企業立地推進室長 西村忠寿、都市整備課計画営繕グループ 主幹 浅田正弘、同整備グループ主幹 田中伸行、消防本部総務課長 加藤正人、子育て支援課長 西井上剛

6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同主任 高野真理子

7 議長あいさつ

8 副市長あいさつ

9 報告事項

（1）一部事務組合議会の経過報告

・愛北広域事務組合議会

黒川議員（愛北広域事務組合議会代表議員）：資料に基づき説明

【質疑】

特になし。

（2）執行機関からの報告

①国土強靱化計画について

協働安全課長：資料に基づき説明。

【質疑】

木村議員：計画は委託してつくったのか。

協働安全課長：コンサルタントに一部委託した

木村議員：市民アンケートを実施しているが、アンケート結果は計画に反映されるか。事前に備えるべき目標、共助や自治組織に関することは計画に反映されているか。

防災安全グループ統括主査：ソフト面の施策や事業は33のリスクシナリオの下にさらに細分化された約160の中に反映させる予定。

宮川議員：概要版200部はどこに配付するのか。

協働安全課長：市民周知用として、各公共施設に配架し、また防災に関する会議等の場で配付する。

②男女協働参画推進計画 2021－2030（案）について

協働安全課長：資料に基づき説明。

【質疑】

黒川議員：推進委員の任期、また委員の入替えは行われるか。セミナーの開催場所はどこか。

協働安全課長：任期は2年で、現在の委員の任期は令和2年4月1日から令和4年3月31日まで。入替えについて、出来る限り高い専門知識を持った人をお願いしたいが、状況によっては入替えもしっかり検討する。サテライトセミナーの会場は生涯学習センターの研修室1、2の予定。

堀議員：総合計画にも位置付けられている計画だが、総合計画では二重丸評価になっていたが、各々の事業の進捗も把握しているはずと思っているが、把握している現状をどう踏まえて新しい計画を作っていくのかという詳しいことは後々聞いていくが、過去の計画と今回の計画の捉え方はどう評価しているのか。新しい法律の基本計画として位置付けるのは、新しい考え方なのかどうなのか。漠とした質問で申し訳ない。

協働安全課長：男女活躍推進法とDV防止法に基づいている点は、現行の計画でも既に同じ位置付けである。総合計画との関係は、同じ指標等を用いている。現行は推進会議を開催して計画進捗状況を把握して、次年度に向けた内容を相談しながら推進を図っている。

堀議員：現計画と新計画の大きな違いは。

協働安全課長：資料の6の図を参照いただきたい。

木村議員：アンケート回収率が24.8%と非常に低い。ボリュームが多すぎたのではないと思うが、どう考えているか。

協働安全課長：統計学上、信頼度95%、誤差±5%を達成するためには、当市の規模では500程度の回答が必要で、回収率は低いが、有効回答数は、496通なので達成していると考えている。委員長は、他市と比較して高い回収率だと評価している。

③岩倉市耐震改修促進計画（案）について

都市整備課長：資料に基づき説明。

【質疑】

堀議員：濃尾地震発生時の被害想定は冬の夕方18時発生と記載されているが、南海トラフの被害想定も同じか。

都市整備課長：県の策定したものを転載したので、確認して回答する。

木村議員：耐震化の現状と目標で、危険物の貯蔵場または処理場の用途に供

する建築物とは具体的にはどこか。

都市整備課長：石塚硝子とミヨシ油脂の建物内貯蔵庫。

大野議員：耐震改修の補助事業は、以前に、設計費を上乗せしたらどうかと提案したが、検討したか。

都市整備課長：設計費も補助対象である。

大野議員：設計費を上乗せすることを提案したのだが。

都市整備課長：検討中である。

堀議員：耐震化補助で、県下でもトップクラスだと言われたが、県内のトップはどこか。

都市整備課長：各事業についてそれぞれ上乗せしているので、トータルでの比較はできない。

水野議員：岩倉駅西のバス通りが緊急輸送道路から除外されているのはなぜか。

都市整備課長：幹線と幹線を結ぶような、特に短い通りは除外した。

水野議員：鉄道が動いている場合だが、鉄道網も含めて考えると、幹線に位置付けられるのでは。

都市整備課長：鉄道は今回の検討から除外している。

計画営繕グループ主幹：最初の堀議員の質問だが、「冬の深夜５時」で想定されている。

⑤その他

- ・都市計画道路 江南岩倉線(一宮延伸)について

都市整備課長：資料に基づき説明

【質疑】

大野議員：県の事業でいいか。

都市整備課長：愛知県の事業である。

大野議員：北部保育園に道路が掛かってしまうが、保育園の配置計画に影響は。

副市長：公共施設再配置計画では、北部保育園は第１期で統合することになっているが、いずれにせよこの場所で建替えであったり、統合するには面積が足りないので、計画でも移転を前提としていると認識している。

水野議員：完成の目安はいつか。

都市整備課長：県は明言していない。

④岩倉市学生消防団活動認証制度について

総務課長：資料に基づき説明。

【質疑】

木村議員：現在消防団に学生は何名所属しているか。またその人たちへの制度周知については。

総務課長：10名である。女性3名、男性7名。周知は各分団長から。

黒川議員：学生消防団の身分と処遇は現状と変わらないか。

総務課長：現状通り。

大野議員：岩倉市の職員採用試験を受けた場合は加算要素になるのか。

副市長：総合的に判断させていただく。

⑤その他

- ・路上喫煙の規制に関する条例（案）に係るパブリックコメントについて

環境保全課長：資料なし、口頭説明。当初、5月19日から実施予定だった検討委員会は新型コロナウイルス感染症の影響で2度にわたる初回の会議の延期を経て、9月8日に第1回会議を開催した。全4回の検討委員会での議論を経て条例案が出来たので、1月25日（月）から2月24日（水）までパブリックコメントを実施する。なお、今後の予定は年度内に検討委員会を開催し、令和3年6月定例会に条例を上程したいと考えている。

【質疑】

黒川議員：市民参加の手続きはここまでどのように行ってきたか。

環境保全課長：検討委員会を市民参加のもと4回開催。併せて市民アンケートを実施した。2000通を送付、回答は1,071通、回収率53.6%であった。アンケートのなかで自由意見を350程いただき、本条例に対する関心の高さを伺わせる。

- ・八剱児童遊園について

子育て支援課長：資料なし、口頭説明。地主から土地の賃貸借契約解除の申出があったので、令和3年3月31日をもって八剱児童遊園は廃止となる。併せて条例等の改正と、原状復帰するために遊具等撤去費用の予算が必要になるので、3月定例会に議案上程予定。また、同児童遊園は五条川小学校の集合場所となっているが、廃止後は夢さくら公園に変更するよう調整中。

【質疑】

特になし。

- ・小中学校の卒業式について

教育こども未来部長：資料に基づいて説明。

【質疑】

片岡議員：保護者の人数制限はしないのか。
教育こども未来部長：学校による。

（３）その他
特になし。

１０ 協議事項
特になし。

１１ その他
特になし。